

# ミドリ



公益財団法人  
かながわトラスとみどり財団

春の葛葉峡谷を巡る  
サワガニ・キアシドクガ・財団主催イベントの対応



1985年に発足以来、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。1万人を超える会員の支援や募金寄附、ボランティアの皆様の協力を受け、今ある自然環境を次の世代に引き継いでいけるよう取り組んでいます。

☎ 045-412-2525  
✉ midori@ktm.or.jp  
🐦 @kanagawa\_midori  
📘 facebook.com/ktm.or.jp  
📷 kanagawa\_trust

## CONTENTS

もくじ

### 自然へ一歩

#### サワガニと 酒井恒博士の仕事

大井町教育委員会おおい自然園園長  
一寸木 肇

1

#### トラスト緑地保全支援事業の新たな緑地 春の葛葉峡谷を巡る

3

#### 葛葉マップ

7

#### キアシドクガ

都市緑地を襲った毛虫地獄とその後  
相模原市立博物館 学芸員  
秋山 幸也

8

#### 新型コロナウイルス感染拡大防止のため 財団主催イベントについて 事務局からのお願い

自然観察・体験イベント・森林ボランティア

12

### 事務局だより

フォトラリー応募の延長  
渡邊英夫理事 環境大臣表彰  
告知「やどりきの森へ行こう！」

16

### 会員の皆さまへ

※転居先不明で返送されるケースが増えてます。  
住所などの変更がありましたらご連絡ください。

※機関誌「ミドリ」は財団公式WEBサイト  
(http://ktm.or.jp)で読むことができます。  
個別の発送停止をご希望の方は財団事務局までご連絡ください。

### 表紙の写真



### 葛葉緑地の静かな春の訪れ

この春はコロナの外出自粛により自宅ですごす日々。  
葛葉緑地で迎えた春の訪れを紹介します。

記事▶P3へ

### 会員数 & 寄附募金のお知らせ

#### トラスト会員を募集しています。 会員の皆さまからご紹介ください！ 現在の会員数

(2020年3月末現在)

	普通会員	緑地保全 支援会員
個人会員	3,672人	405人
家族会員	6,267人	683人
法人・団体会員	271人	26人
特別・名誉会員	315人	
計	10,525人	1,114人

#### 遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附について関心が高まり、これまでに遺贈を受けた公益事業を開始しております。遺言の財産受取人として、公益財団法人かながわトラストみどり財団をご指定いただけます。

#### 相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10ヶ月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

#### かながわトラストみどり基金への寄附状況

寄附累計額(2020年3月末現在) **14億3,270万6,382円**

寄附者名(2019年10月~2020年3月分まで) (敬称略)

ウエイズグループ、神奈川えびね会、公益社団法人神奈川県LPガス協会、株式会社神奈川保健事業社、公益財団法人神奈川霊園、株式会社環境管理センター、鷺沼人工腎臓石川クリニック、藤崎英輔、山本勝久、吉田徳之

※お詫びと訂正/ミドリNO. 116の記事に誤りがありました。正しくは以下のとおりです。  
(誤)寄附者名(2019年10月~12月)(正)(2019年7月~9月)

#### トラスト募金

募金者名(2020年1月~3月) (敬称略)

箱根ロープウェイ株式会社、株式会社横浜銀行 伊勢原支店、公益財団法人 ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館、桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト、神奈川県庁各所属・出先機関。

#### 「かながわトラストみどり財団」への寄附

財団へ寄附をいただきましたのでご紹介します。誠にありがとうございました。

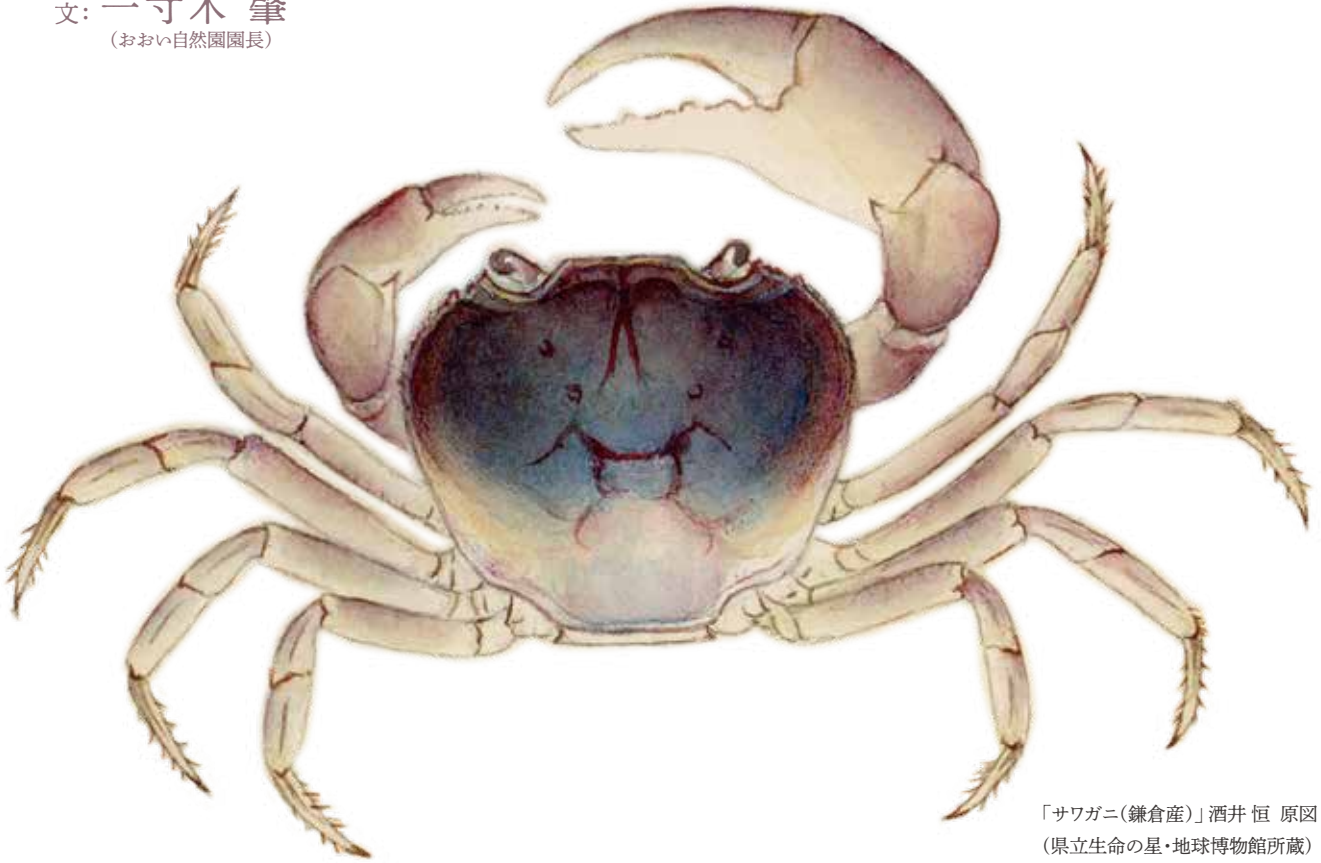
寄附者名(2020年1月~3月) (敬称略)

アサヒ飲料販売株式会社、天辰 哲也、池谷 善博、伊藤 雄二、井上 哲也、梅川 照子、大石 勝義、久保 幸子、小網代会館、小島 美保子、小林 富二男、桜井 敏郎、柴崎 えつ子、清水 紀彦、菅野 実、高橋 敏雄、忠内 真須美、千々輪 英男、内藤 誠一、濱尾 光吉、藤田 禮子、古川 仁朗、松川 清、山村 宣夫、山本 勝久、渡部 明

※掲載の承諾をいただいた皆さまをご紹介させていただいております。

# サワガニと 酒井恒<sup>つね</sup>博士の仕事

文: 一寸木<sup>ちよつき</sup>肇<sup>はじめ</sup>  
(おおい自然園園長)



「サワガニ(鎌倉産)」酒井恒 原図  
(県立生命の星・地球博物館所蔵)

## サワガニ

精緻に描かれたサワガニは、蟹類研究の世界的権威であった酒井恒博士(1903~1986)が1976年に著わした『日本産蟹類』に掲載されているものです。ちなみに図には「鎌倉産」の添え書きがあり、この図以外にも「富士川産」「箱根産」の個体が掲載されています。また、後のページには「サワガニの生態」として灰青色の甲を持つサワガニの写真が載っています。これらの原図は、博士が収集した標本とともに、神奈川県立生命の星・地球博物館に所蔵されています。

サワガニは、本州、四国、九州に分布し、北海道には生息していません。ただ、本種は地域によって体色に変異があることが知られ、県内では灰青色の甲を持ったものとそれに類するもの(「鎌倉産」「箱根産」と表記されたもの)と、丹沢山地に多い茶褐色~紫褐色のタイプ(次頁)が見られます。なお、西日本では、赤褐色のタイプ(「富士川産」と表記されたもの)も出現します。ただ体色変異とその分布の関係は、まだよくわかっていません。

サワガニ(鎌倉産)の原図は神奈川県立生命の星・地球博物館により提供を受けました。  
ここに深謝いたします。



神奈川県立生命の星・地球博物館(1999)  
『特別展図録 カニの姿』より転写  
図録には『酒井恒先生、神奈川県立博物館にて  
昭和55年8月』と記されています。



丹沢山地に多い茶褐色～紫褐色タイプのサワガニ(西丹沢産 筆者撮影)

## 蟹の研究者としての酒井恒博士

酒井恒博士は、足柄上郡大井町に生まれ、鎌倉市で没しました。小さい頃から生きものの観察に勤しみ、東京文理科大学(現在の筑波大学の母体)を卒業して、下田にある同大学附属下田臨海実験所の助手となり、蟹類をはじめとする海洋生物の研究に没頭します。ここに在勤していたとき、下絵は酒井博士、彩色は茂子夫人が仕上げた図が評判となり、1935年に日本で初めて蟹の原色図鑑を出版します。それが『日本蟹類図説』です。この本は、戦後の混乱期にも版を重ねるほど画期的な図鑑でした。

その後、横浜国立大学学芸学部(後の教育学部)教授を勤めるかたわら、葉山の御用邸にお越しになる昭和天皇にご進講を行っておりました。相模湾で陛下が採集された様々な海洋生物は、各分野の生物学者によってまとめられますが、酒井博士は蟹類を相当し1965年に『相模湾産蟹類』が出版されます。ここで登場する図は、酒井博士が下絵を描き、茂子夫人亡きあとにめとられた綾子夫人が彩色したものです。

そして、1976年に酒井博士と綾子夫人は、新しく描いた図で構成した図版を含め、3分冊からなる大著『日本産蟹類』を出版したのです。現在、神奈川県立生命の星・地球博物館に所蔵されている原図は、ほとんどがその時のものです。

## 自然観察の楽しさや大切さを伝える

酒井博士は、自身の蟹類の研究だけでなく、日本甲殻類学会を創立して、研究者たちの情報交換や後進の育成を図ります。創立には、開業医でありながら小田原甲殻類博物館を運営していた小田原利光氏らが大きな役割を果たしました。

また、自然観察会の講師を務めるだけでなく、自然教育推進のため、真鶴町に大学附属の理科教育岩実験所(現

臨海環境センター)を設立し、将来教師となる学生や現役教師が臨海実習を行えるようにしました。このときには、当時の真鶴町長や後の真鶴遠藤貝類博物館を設立した遠藤晴雄氏(当時は町教育長)が尽力しています。

それだけでなく、子どもたちが海で暮らす生きものに興味を持ち、自然のしくみを理解できるよう、児童向けに『潮干狩りの動物研究』『海辺の動物』なども執筆しており、『潮干狩りの動物研究』は後に再版された名著です。

更に博士は、人々が海の生きものに関心を持ち、地域の自然を保全するようにと、ウメボシイソギンチャクとサンゴイソギンチャクを県天然記念物に指定するよう県に働きかけました。

このように神奈川県自然保護のためにも様々な活動がされてきたことは、特筆に値します。

## 再びサワガニ

博士が1956年に執筆された『蟹』という一般書があります。蟹の形態、生態、伝承、研究者など、蟹のことを網羅したものです。その本は1980年に講談社から『蟹 その生態と神秘』として、内容を加筆し出版されました。初版のカバーに青い甲を持ったサワガニの写真が使われたことに、大井町で生まれ青い甲のサワガニに慣れ親しんだ博士の想いを偲ぶことができます。

プロフィール



ちよつき はじめ  
一寸木 肇

大井町教育委員会  
おい自然園園長

トラスト緑地保全支援事業の新たな緑地

# 春の葛葉峡谷を巡る

財団事務局

葛葉緑地のある秦野市は各所で湧き水が豊富で名水のまちとして知られています。葛葉緑地も中央に葛葉川が流れ、所々で水が湧く峡谷で、まさに秦野のシンボリックな緑地です。

この春はコロナの外出自粛要請で財団主催のイベントも休止となり残念でしたが、本誌で春が訪れた自然の様子を伝えたく、新たにトラスト緑地保全支援事業に加わった葛葉緑地を散策するような記事で紹介します。

緑地へは小田急線秦野駅からバスに乗って停留所「宮上」で下車という早く向かう方法もありますが、せっかくなので駅からの散策を楽しみながら歩くことにしました。ちなみに車で行く場合は無料の駐車場があります。



## 駅から名水の里を散策

さっそく秦野駅北口からまほろば大橋を渡り、水無川に沿って歩きます。丹沢の山々を水源とする水無川ですが、まさに名前のとおり川幅が約25mほどありながら、水量が少なく河原の石がゴロゴロと目立ちます。これは、秦野の地盤は水を通しやすく地下水となって流れるため、水の流れがほとんど見えなくなるからだそうです。水無川はここから下流で葛葉川、金目川と合流し、平塚市では花水川と名を変えて相模湾に注ぐ「金目川水系」の一つです。また、水無川の上流には財団のイベントでよく利用する秦野戸川公園があります。

まほろば大橋から秦野橋まで歩き、商店街を抜けて古道の「乳牛通り」に入ります。秦野市内には「大道通り」や「曾屋みち」などの古い街道が各所に延びており、昔から交通の要所だったことがわかります。

趣ある古道をゆっくり散策し、風情ある豆腐屋や大きな古民家の家々の庭木を楽しみながら歩き、車通りの激しい幹線道路に出たところで曾屋水道記念公園にたどり着きました。これまでのところで20分くらい。



記念公園入口

公園看板の説明では、ここは極めて早い時代に建設された水道施設で、1890年(明治23年)、横浜、函館に次いで全国で3番目にできたそうです。また、村人が主体となって計画し、資金を出資して作り上げたという非常に珍しい近代水道施設だったようです。

この施設に貯水池やポンプ所を置き、時代とともに取水抗が掘られました。その水源地の多くは葛葉緑地周辺を水源として、水道管を通して取水され、1983年にその役目を終えました。現在は遺構の周辺にベンチや水辺のピオトープが作られた公園となっています。思いがけず水道遺構と湧水が豊富な葛葉緑地の接点を見つけることができました。

ここから水を司る曾屋神社を横目に坂を上がり、国道246号線の立体交差を抜けてちょっと控え目な、緑色の「葛葉緑地入口」の看板を見つけました。

こんな幹線道路と住宅街に緑地があるのか心配になりますが、緩やかな上り坂を歩いていくと樹木が少しずつ見えてきます。そこで入口に着いて、はっと気づきます。



遺構上部にある記念モニュメント



くずはの家入口



見下ろす葛葉緑地

緑地といえば山など見上げることが一般的ですが、葛葉緑地は逆で下に広がって見えるのです。これまで秦野駅から緩やかに登ってきただけなのに、ここからは一気に下を見ることができ、まるで空を飛ぶような気分になります。

足元の台地より下に緑地があり、鳥のさえずりとともに川のせせらぎが聞こえます。まさに秘境ともいえる緑地です。住宅街から見下ろすと、サクラやコナラなどが若葉を広げようとしている隙間から、ログハウスの「くずはの家」が樹林に囲まれて見ることができます。そのさらに下を葛葉川が流れています。

レンガで組まれたソメイヨシノのサクラ並木道を下っていき「くずはの家」に到着しました。ここからは、「くずはの家」の高橋所長に葛葉緑地を案内いただきます。

## ようこそ葛葉緑地へ

### 高橋所長

くずはの家は平成10年4月にオープンしました。研修室で自然環境の講座や講演などを行うほか、スタッフが来園者に自然の情報を提供しています。観察の際はまず、施設に寄って見頃な植物や昆虫などの情報、川の増水などの注意点や危険な場所のアドバイスを聞くと良いと思います。ヤマビル対策の食塩水も準備してあります。また、緑地の整備やイベントのお手伝いいただいているボランティアの会の皆さんの拠点でもあります。

そして、今見てほしいのですが、あの液晶画面を見てください。

### — 巣箱の映像ですか？

このエノキにかけられた巣箱にカメラが仕掛けてあり、今年シジュウカラが営巣しているところです。今ちょうどエサを運んできましたね。

またエノキの下には「でんじそう池」があります。1月から



巣箱の中。6個の卵が確認できる

3月にヤマアカガエル、3月半ばごろにアズマヒキガエルが産卵にやってきました。暖かい雨の夜には蛙合戦が繰り広げられます。先にオタマジャクシ



でんじそう池

になったヤマアカガエルが、アズマヒキガエルの卵塊を食べてしまうので、棲み分けができるように工夫しています。

さあそれでは緑地内を散策してみましょう。

### — ああ「そうめん」を流しそうな竹組はなんですか？

これ、そうめんは流さずに、どんぐりを転がす遊具です。これは丸みのあるクヌギのどんぐりですね。これを頂上から転がすと。

コロ、コロ、コロと軽快な音。

いい動きするでしょう。小さな子供たちはこれに夢中で、



どんぐりころころ

ずーっと転がして遊んでいますよ。ボランティアの会の皆さんと一緒にマダケを切り出してきて、2つに割って節をとって設置しました。複雑なピタゴラ装置ではありませんが、来場者に人気です。

## 吊り橋を渡り右折、葛葉川の河原へ

丹沢山塊から流れる葛葉川は、秦野の台地を深く刻み、大きく蛇行しています。最も深いところで約30mの切り立った崖がある「峡谷」を形成しています。こちらを見てください。地層観察にはうってつけの場所です。

秦野地域は箱根や富士山が近いために火山噴火の様

子を地層で見ることが出来ます。川の水面あたり、白っぽく見えるのが約12万年前の箱根火山の噴火で灰や砂、軽石などが飛来した層です。その上の層の厚く黒い部分は関東ローム層といって、もともとは火山灰ですが、どこの火山に由来するかは不明です。ゆっくり時間をかけて堆積し、植物の腐食を重ねた層といえます。そしてまた時間が経過して噴火し、白い層が積まれるわけです。上の方に見える小石などのレキも上流から流れて堆積した層で、約5万年前といわれています。



地層観察

—あ、カワセミ!目の前を横切りました!

ちょうどあの枝先に止まっていますね。

漢字では翡翠と書くようにきれいな青色の背中に大きいくちばしの特徴です。枝先にとまって獲物の川魚を探しているのでしょうか。

さて、周辺を見てみましょうか。河原は花畑ですね。日当たりのよい場所は昆虫たちの楽園です。セイヨウアブラナ、ハマダイコン、オオアラセイトウなどが咲いて、たくさんのチョウが飛んでいます。スジグロシロチョウやモンシロチョウ。ヤマトシジミ、ベニシジミなどシジミチョウもたくさんいます。でもシジミチョウは翅が青いチョウが多くいるので、よく観察しないとわからないですよ〜。

こういうときはカメラのズームか接写で撮影するとわかります。画面を見てください。

これはツバメシジミでした。後翅にピョンと尾状突起が見えますか?小さな尾状突起からツバメの尻尾って連想しにくいけど、そこからツバメという名前が付けました。ほかにオレンジ色の模様も特徴です。このほか春先に小さいシロチョウの仲間ですまきチョウも見ることができます。



ツバメシジミ

飛び石を超えてけやきの道へ

台風の影響で飛び石も一部流れてしまって、渡りにくくなりました。日によって水位も上がりますので、あまり無理して渡らないでくださいね。



ツバメシジミ



タチツボスミレ



ベニシジミ



クサイチゴ



ヘビイチゴ



ハマダイコン



カキドオシ



セイヨウアブラナ



オオアラセイトウ



つり橋から

スギ・ヒノキの針葉樹林に入りました。  
タニギキョウやニリンソウが咲いていますね。こちらにあるのが、ウラシマソウです。名前はいかにも浦島太郎が持っているような釣竿に見えるからですね。

山菜のコゴミももう立派に成長していますね。きれいな新緑です。

さて少し山を登って金比羅宮へ向かいます。

ビロウドツリアブが吸蜜していますね。都市の花壇でもよく見かけますが、丸みのある体に褐色の毛があるアブの仲間です。尖った長い口吻を花に差し込み、ホバリングしながら次から次へと吸蜜していますね。春のこの時期だけ見られますが忙しそうです。

ちょうどコクサギがありますね。  
「コクサギ型葉序<sup>よつじよ</sup>」って聞いたことありますか？一般的な葉のつき方は対生か互生ですが、コクサギは互い違いに2枚ずつ着くのがとっても不思議ですね。最近ではこの葉の配列について研究が進んでいるそうですよ。



コクサギ

金比羅宮に着きました。ここから一旦、市道に出て住宅街を歩きますが、どんぐり山コースからくずはの家に戻りましょう。

住宅街に登ってきました。これまで、中心を流れる葛葉川の河原から始まり、峡谷の崖、水が湧き出る水辺などの環境から少しずつ尾根筋を登りつつ、段丘面の草地などを観察してきました。ほんの小一時間歩くだけで様々な環境があり、それぞれに様々な動植物が生息していることに気づかされたと思います。それに合わせて環境を整備していくことも大切です。

また、自然環境の変化は穏やかそうにみえて、意外に目



ツルカノコソウ



ニリンソウ



タニギキョウ



ヤマルリソウ

まぐるしく、特に水の力が大きく影響します。台風や洪水等で葛葉川が大暴れしますので、ボランティアの皆さんとともに、支援資金を受けながら引き続き緑地を保全していきたいですね。

さて、くずはの家に帰りました。ありがとうございました。  
—ありがとうございました。

関連記事:「光るミミズって見たことある? 高橋孝洋」,  
「葛葉緑地で地質学にふれる 笠間友博」(ともに機関誌  
ミドリ107号)、「秦野の水道の歴史・曾屋水道記念公園  
(秦野市)」

プロフィール



たかはし たかひろ  
案内人: 高橋 孝洋  
自然観察施設「秦野市くずはの家」所長

### トラスト緑地保全支援会員 対象緑地に葛葉緑地が加わりました。

普通会員の方に任意の加入で特定の緑地を支援していただく会員です。ご支援の緑地の自然再生や管理作業費用に会費の全額が充てられます。小網代の森緑地、久田緑地、桜ヶ丘緑地、葛葉緑地から選択できます。

トラスト会員		普通会員	トラスト緑地保全支援会員	
個人	大人	2,000円	任意加入 トラスト会員 + オプション 支援したいトラスト緑地のいずれかを選択	個人/家族 3,000円
	中・高校生	1,000円		
	小学生	500円		
家族	1家族	3,000円	法人/団体	10,000円
法人/団体	1口	10,000円	法人/団体	1口 10,000円

5年分の会費を1回でお払いいただくと6年間会員になれます。



# 葛葉緑地 アクセスMAP

〒257-0031 秦野市曾屋1137番地

☎0463-84-7874 (秦野市くずはの家)



## アクセス

### 電車・バスの場合

- 小田急線秦野駅北口よりバスで約7分  
神奈中バス2番乗り場から出るどのバスでも、停留所「宮上」を通ります。
  - 菩提経由「横野入口」行き
  - 大倉入口経由「渋沢駅北口」行き
  - 榎木堂経由「高砂車庫」行き
- バス停「宮上」下車徒歩約3分(少し戻る)

### 車の場合 無料駐車場あり(25台)

### 利用案内

開館時間	9時から17時
休館日	月曜日(祝日の場合は火曜日) 祝日の翌日(その日が土曜日・日曜日の場合は翌週の火曜日) 年末年始(12月29日~1月3日)
利用料	無料 ※団体利用は予約が必要です

お勧め徒歩ルート  
(徒歩約25分)

バス  
②番乗り場



くずはの家



写真1 キアシドクガ(成虫)

## キアシドクガの大発生

### 都市緑地を襲った毛虫地獄とその後

相模原市立博物館 学芸員 あき やま こう や  
秋山 幸也

#### 毒の無いドクガ

キアシドクガは、ドクガ科に分類される昆虫で、春に発生する幼虫は黒くて毛足の長い、典型的な毛虫です(写真2)。成虫は一転してモンシロチョウよりも白さが際立つ純白の美しい蛾で、前肢に目立つ山吹色は種名の由来となっています(写真1)。名にドクガ(毒蛾)とつくのはドクガ科に属するためですが、幼虫も成虫も毒はありません。

キアシドクガの幼虫の食草はミズキやクマノミズキです。成虫は口吻を持たず、何も食べません。1化性(成虫の発生が年1回)で5月中旬頃羽化し、1週間から10日程度のうちに交尾、産卵すると衰弱して死に絶えます。



写真2 キアシドクガ(幼虫)



写真3 食害され丸坊主になったミズキ類(右側)(2017年)

## 相模原市域の大発生経過

### ①大発生初期(2014年～2016年)

私が勤務する相模原市立博物館周辺の樹林でキアシドクガの大発生が気付かれたのは、2014年でした。この年は、たくさんの成虫がミズキ類のまわりを舞っていて、「いままでこんな白い蛾がこんなにいたかな?」という程度でした。翌2015年、キアシドクガの情報を前年のうちに把握して、大発生が始まったかもしれないということで早めに注目していたこともあり、4月下旬の幼虫期から追うことができました。幼虫の終齢期にはミズキ類に食痕が目立ち、成虫の発生も前年より増加した印象はあったものの、ミズキ類が丸坊主になるような食べられ方はまだしていませんでした。

2016年も前年からの大きな増加を実感したものの、成虫の群舞が幻想的で美しい、などということ職場のブログページで発信していたことから考えても、騒動という認識はまだありませんでした。

### ②大発生後期(2017年～2019年)

地域的な社会問題になっていることを実感したのは、翌2017年からです。幼虫が目立ち始める時期がそれ以前の3年間よりも1週間ほど早まり、終齢期を迎える頃には敷地内のほとんどのミズキ類が、木1本が丸坊主になるほど葉を食べ尽くされていました(写真3)。蛹化場所を求めて動き回る終齢幼虫は、ミズキ林に面した建物壁面を覆い尽くし(写真4)、成虫になっても洗濯物に付着するなどして、周辺住民からの苦情が出始めました。結果的に

成虫の発生数のピークは2017年でした。

2018年は幼虫の発生がさらに前年よりも10日ほど早まったように見えました。幼虫についてはこの年が発生量のピークとなり、ミズキ林に近づくとも幼虫が葉を食べる音とフンの落ちる音が重なり、かなりの音量で、「ザーツ」と土砂降りの雨音のように響いていました。幼虫の成長にミズキの葉の展開が追いつかず、伸びきる前に食べ尽くされてしまったため、栄養不良や、蛹化前に死亡する幼虫が多数見られました。終齢幼虫のサイズが著しく小さくなり、幼虫の発生量は前年より多かったのに反して、成虫の発生量は減少したように見えました。

2019年は目に見えて前年よりも幼虫の発生量が減少し、ミズキ類は前年、花芽まで食べられて開花できなかったのが、この年は開花が見られました。

## 大発生の土台となったミズキ林とは

そもそもキアシドクガの大発生が相模原市の樹林地で起こったのはなぜなのでしょう。それは、食草であるミズキ類が優占する都市の平地林の成り立ちに要因があります。

ミズキ林を構成するミズキとクマノミズキは、近縁種の樹木で、葉も花もよく似ています。最も大きな識別点は、ミズキは枝の付き方が互生(写真5)、クマノミズキは対生(写真6)である点です。ただし、クマノミズキの対生は、カエデの仲間のようなはっきりとしたものではなく、ちょっとルーズで、枝によって



写真4 相模原市立博物館の外壁を這い上がる幼虫(2017年)

は互生に見えたりします。また、冬芽(休眠芽)の形が全く違い、ミズキは大きくてろうそくの炎のような形、クマノミズキは小さくて鋭利な形なので、むしろ葉の無い冬の方が見分けやすい木です。クマノミズキの方が、花期が5~6週間ほど遅いのも重要な識別点です。

ミズキ類は、明るい場所なら発芽していち早く高木化し、樹林を形成します。もともと樹林が成立しているような場所にはミズキが高木化する余地はあまりありません。しかし、何らかの原因で草原など開けた土地が遊休地として手入れがされず、植生が遷移すると、数十年を経てミズキ林が成立する可能性が高くなります。

博物館に隣接した樹林は、かつて旧日本陸軍用地であり、敗戦によって米軍に接收された土地です。米軍は戦後しばらく「キャンプ淵野辺」として利用していたものの、多くが遊休地化していたことから1974(昭和49)年に日本へ返還されました。

そして返還地のうち、一部は公共用地として利用されず、キャンプ淵野辺時代から立ち入り制限がかけられたことで植生が遷移し、ミズキ林が成立したのです。

さらに、そこから少し東側に広がる広大な平地林である通称“木もれびの森”は、1973(昭和48)年に都市近郊緑地特別保護地区として指定・保全され74ヘクタールの面積を有します。ここはもともと雑木林やスギの植林地でしたが、一部には畑地や遊休地化した場所があり、そこにもミズキ林が成立しています。こうして、相模原市の広大な平地林がキアシドクガの大発生の土台となったわけです。

### 発生時期は早まったのか

さて、大発生後期に、キアシドクガの発生時期が早まったように見えたと言いました。これは昆虫類の大発生でよく知られる現象ですが、ピークを過ぎてみると「早まった」という表現が適当ではないように感じられたからです。

大発生前期は、羽化した成虫が飛び始めたのが5月20日過ぎでした。2016年にはやや早く羽化を



写真5 ミズキの枝ぶり



写真6 クマノミズキの枝ぶり

確認しましたが、これは大発生3年目で発見の精度が上がったためとも考えられます。明らかに早まったのは2017年で、蛹化前の幼虫がゴールデンウィーク前にはフェンスなどに目立ち、成虫の羽化も5月中旬から見られるようになりました。2018年は幼虫が4月中旬には目立ち、羽化は5月6日に確認されました。こうして書き出すと発生が2週間早まっているように見えます。しかし、2019年は幼虫や羽化を前年並みの時期に確認したものの、成虫が目立つようになったのは5月下旬で、大発生前期に戻ったように感じられました。

こうした経緯を冷静に見ると、発生が早まったのではなく、発生量の山が大きくなり、発生前期の裾野でも量が多くなって目立つようになることと、観察者の経験値も上がって発見の精度が高くなり、早まるように見えていたのでしょう。

ミズキ類の食害状況も、若齢期は比較的高い位置の葉を食べていますが、大発生が進むと木全体に広がっているように見えます。成虫も数が少ない時は木の上の方を飛んでいることが多く、もともとあまり目立たない蛾なのでしょう。このような習性も大発生のピークに発生が早まって見える要因と言えます。

## 大発生の後に起きたこと ミズキ類の枯死

大発生のピークの2017年と2018年には、4月中にミズキ類の葉が食べ尽くされました。そして、休眠芽が覚醒して、キアシドクガの成虫が死に絶えた初夏には葉を再び茂らせました。しかし、こうして1シーズンに2回の展葉を複数年続けたミズキ類は樹勢が弱まり、2018年の冬頃から樹皮がひび割れて不健康な状態の木が目立つようになりました。

2018年12月、博物館に隣接した留保地内を調査したところ(秋山 2019)、ミズキの7割強、クマノミズキの3割強が樹皮剥がれや落枝が目立つなどの不健康、あるいは枯死した状態でした(図1)。ミズキとクマノミズキの値に差が出た理由はわかりませんが、両種の花期の違いが、食害による負荷と関係している可能性もあります。

## おわりに

当初、牧歌的で美しい風景だとすら思っていたキアシドクガの大発生は、私たちの想像を上回る規模となって“毛虫地獄”をもたらし、社会問題化しました。2020年は昨年よりもさらに発生量が少なく、大発生は終息期の末期となったようです。しかし、その社会的影響はミズキ類の健康状態の悪化という形で続いています。

ここ数年、ミズキ林では積雪や台風のたびに大きな落枝や倒伏があり、現在のところ人的被害は無いものの、樹林管理上の大きな懸念材料となっています。大発生は相模原市中央区で始まり、それは同心円状に広がって高尾山などでも見られています。タイムラグが1~2年程度あり、そうした地

域でも今後、同様の問題が発生し、危険木の予防的な除去が必要になると思われます。

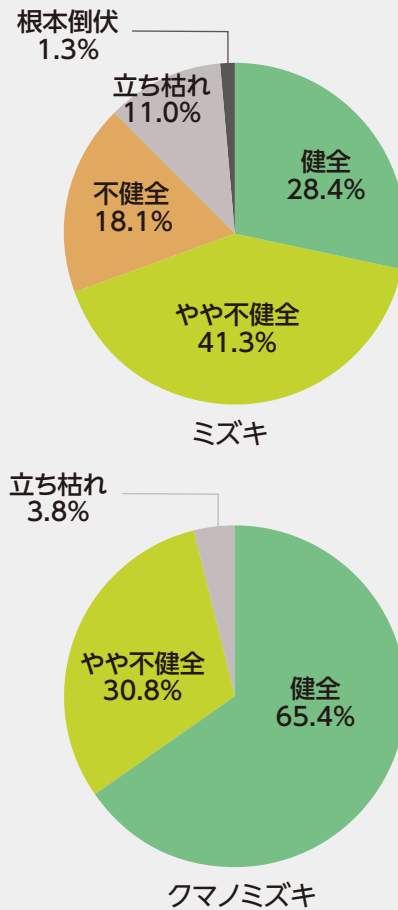


図1 キアシドクガ図に食害を受けたミズキ類の不健康木の割合 (2018年)

### 引用文献

秋山幸也(2019)相模原市におけるキアシドクガの大発生とミズキ類への影響、相模原市立博物館研究報告(27):35~39

### プロフィール



あき やま こう や  
秋山 幸也

相模原市立博物館学芸員(生物担当)。  
専門は生態学と環境教育など。

# 財団主催イベントについて事務局からのお願い

2020年4月～8月(一部をのぞく)の財団主催イベントについては新型コロナウイルス感染拡大防止のため残念ながら中止または延期としました。

皆さまに安心して活動に参加してもらえるよう感染拡大防止策などに取り組み、最善の注意を払いながら事業を進めてまいります。場合により急ぎよ中止や行程の変更もありますことをご理解ください。

今後も予断を許さない状況ですが、都市域における自然観察や自然体験、森林づくり活動の必要性があらためて再認識されている中で、今できる範囲で事業を実施していきますので、引き続きご支援ご協力をよろしくお願ひします。

## 参加のための注意事項

### ① 当日の参加にあたる確認事項

(1つでも該当する場合は、参加を見合わせてください)

- 風邪の症状がある
- 過去48時間以内に発熱の症状がある
- 倦怠感(だるさ)や咳、痰、胸部に不快感がある
- 味覚、嗅覚に違和感がある
- 同居家族や身近な知人に感染症が疑われる人がいる
- 過去14日以内に海外への渡航履歴がある
- その他、新型コロナウイルス感染の可能性の症状がある

### ② 活動にあたるお願い

- 飛沫感染を防止するために原則マスク等を持参し着用をお願いします。
- 会話をするときには、必ずマスクを着用してください。
- 人との距離とるなど、財団職員の注意事項を守ってください。



## インターネットを活用した オンラインライブ配信について



参加無料

**申込方法** LIVEマーク付のイベントでは財団公式フェイスブックにてライブ配信を行います。

当日ご自宅から観察会等をお楽しみいただけます。試験的な取り組みのため、仕様や行程を変更する場合があります。

**イベント生中継のお知らせ** 参加にはFacebookアカウント登録が必要です

1. 財団公式フェイスブック「facebook.com/ktm.or.jp」に「イイネ!」をお願いします
2. 財団公式フェイスブック等メッセージやメールにて●イベント名●氏名●住所●電話番号●会員番号を明記してお申し込みください。後日、応募いただいた方にのみ、限定配信用ページのリンク先をお知らせします。

※詳細はお申込みいただいた方にご案内いたします。

希望の方は必ず「ライブ配信希望」とお伝えください。

**8月4日(火) 18:00頃～19:30頃** **アカテガニ放仔観察会 2020ライブ配信**

**9月19日(土) 11:00頃～12:30頃** **小網代の森へんな生きもの観察会 ライブ配信**   
(通常の観察会も開催しますが、定員を少なくして行います)

ご注意: 通信料はご負担ください。Wi-Fi環境など電波の良い所でご視聴ください

## 2020年アカテガニ放仔観察会について

今回のアカテガニ放仔観察会も感染症拡大防止の観点から中止となりました。これまでも高温注意情報発令や荒天の場合において中止が相次ぎ、今後もイベントとして実施できるのか課題となっています。ですがアカテガニ放仔という自然の営みは、小網代の森の保全活動を多くの皆さまに理解してもらうための重要な機会と考えております。

このきっかけをチャンスととらえ、新たな試みとしてライブ配信を検討しています。youtubeの専用チャンネルにて応募の方のみリンク先をお知らせします。詳しくは左記の「ライブ配信について」を確認ください。また、実施にあたりモニターを若干名募集します。応募可能な方は財団事務局にご連絡ください。

**【ライブ配信限定】**

### アカテガニ放仔 観察会2020ライブ配信

**8月4日(火)**  
18:00頃～19:30頃

予備日  
**(8月19日(水))**

◀【申込方法】は左記より



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各イベントの大幅な企画変更がありました。  
イベント・ボランティアの参加にはマスク着用と当日の検温報告をお願いします。また、急な中止・行程変更がありますことをご承知ください。

2020年度  
2020.8/1-  
2021.3/31  
かながわ  
トラスト  
みどり財団

# 自然観察&体験イベント

【共通事項】

- バス乗車 ※コース内のバス代は各自負担となります
- 徒歩 ※●の数が多いとコース難易度が上がります
- ↑ 高低差

※写真はすべてイメージです

※受付期間中にお申し込みください。定員を超える場合は抽選となり、定員に満たない場合は申し込みを先着順に切りかえて引き続き受付いたします。【雨天の場合】原則として小雨天決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。  
【持ち物と服装】筆記用具、雨具、水筒、必要に応じて、双眼鏡・帽子、長袖、長ズボン、歩きやすい靴でご参加ください。

## 自然観察会

**8月6日(木) (予備日8月13日(木))** 各時間 **10人** 受付 7/31金必着

**①9:00~12:00 ②13:00~16:00**  
**進和学園でブルーベリー狩り**

会員 **1,000円** 【講師】進和学園  
一般 **2,000円** 【集合】JR平塚駅東口改札前  
学生 **1,000円** 【①9:00②13:00】

※バス・お土産代含む※持ち帰り用ブルーベリーは別料金  
※複数部申込不可

【コース】平塚駅～①～進和学園～ブルーベリー摘み～湘南リトルツリー～②～平塚駅

●「いのちの森づくり」活動を行う進和学園にて摘み取ったブルーベリーが食べ放題。追加料金で持ち帰りもできます。湘南平の植生について伺います。

## 植物講座

**9月5日(土) 9:40~12:00**

**神奈川県植物相と博物館の役割**

会員 **無料** 【講師】  
一般 **2,000円** 県立生命の星・地球博物館  
学生 **1,000円** 学芸部長 田中徳久氏  
※入館料金含む  
**30人** 受付 7/31金必着

【集合】箱根登山鉄道入生田駅9:40  
もしくは現地集合9:50

【会場】県立生命の星・地球博物館

●神奈川県はもともと植物相が把握されている都道府県のひとつと言われ、これまで6冊の植物誌・植物目録が刊行されています。県の植物相調査の歴史とその結果から分かる植物相の特徴、さらには、その調査で博物館が果たしてきた役割を紹介します。

## 自然観察会&体験

**9月12日(土) 9:00~12:30** **15人** 受付 7/31金必着

**ヨット・カヤック体験付  
小網代の森と海の観察会**

会員 **無料** 【講師】小網代の森NPO法人  
一般 **2,000円** 小網代野外活動調整会議  
学生 **1,000円** 海洋セミナー  
(株)リビエラリゾート  
【集合】京急線三崎口駅改札前9:00

【コース】三崎口駅～①～引橋入口～小網代中央の谷コース～小網代湾内～シーボニア～②～三崎口駅

●小網代の森の源流から河口干潟、海へと連なる自然の豊かさを体感するため、小網代を散策し、歴史あるマリナーにてヨット、カヤックなどを体験します。

## 自然観察会

**9月19日(土) 9:30~12:30** **LIVE**

**小網代の森へんな生きもの観察会**

会員 **無料** 【講師】NPO法人  
一般 **2,000円** 小網代野外活動調整会議  
学生 **1,000円** 【集合】京急線  
三崎口駅改札前9:30

【コース】三崎口駅～①～引橋入口～小網代中央の谷コース～えのきテラス(解散)  
※帰路案内マップあり

●児童書でベストセラーでもある“ざんねん”や“へんな”生きものが子どもたちに人気です。小網代の森や干潟で特に珍しく馴染みのない生きものを実際に見てさわってマニアックに紹介します。

## 緑地周遊

**9月25日(金) 13:00・13:30~16:30**

**三浦半島トラスト緑地を海から巡る  
～トラスト緑地周遊クルーズ2020～**

会員 **2,000円** 【講師】葉山しおさい博物館  
一般 **4,000円** 学芸員 倉持卓司氏  
学生 **1,000円** 【集合】京急線三崎口駅改札前13:00  
またはシーボニアマリナー指定場所13:30

※酔い止めと双眼鏡持参 **15人** 受付 7/31金必着

【コース】三崎口駅～①～シーボニア～ヨット乗船～小網代湾～長者ヶ崎緑地～大崎緑地～逗子マリナー～②～鎌倉駅or逗子駅

●カタマランヨットに乗り込み、普段見られない海からのトラスト緑地を視察。三浦半島の自然環境についても学べます。

## 自然観察会

**10月10日(土) 10:00~13:00**

**鎌倉の切通しと植物観察**

会員 **無料** 【講師】  
一般 **2,000円** インタープリター  
学生 **1,000円** 山口正志氏  
【集合】JR北鎌倉駅  
西口改札前10:00

**15人** 受付 8/1~8/31

【コース】北鎌倉駅～源氏山公園～葛原岡神社～鎌倉駅

●鎌倉の切通しなどを散策し、歴史を感じながら植物観察も楽しめます。

## 自然観察会

**10月17日(土) ①9:30~12:10 ②14:30~17:10**

**癒やしスポット鎌倉広町 ※複数部申込不可  
薬草に親しみハーブティをつくる**

会員 **無料** 【講師】鎌倉広町の森 市民の会  
一般 **2,000円** 【集合】湘南モノレール  
学生 **1,000円** 西鎌倉駅改札前  
①9:30②14:30

各時間 **10人** 受付 8/1~8/31

【コース】西鎌倉駅～広町緑地～西鎌倉駅

●癒やしスポットに選定された鎌倉広町緑地で植物観察を行い、茶葉に使える植物を探し、緑地オリジナルのハーブティを作ります。※原則として公園や緑地での動植物の採取は禁止されていますが、今回はイベントに合わせて特別に採取します。

## 歴史見学

**10月17日(土) 12:30・13:00~16:00** **10人** 受付 8/1~8/31

**秋の緑と歴史探訪**

会員 **無料** 【共催】(公財)鎌倉風致保存会  
一般 **500円** 【講師】  
※別途拝観料(500円位)必要 元鎌倉女子大教授  
八幡義信氏  
【集合】JR鎌倉駅東口改札前12:30  
または浄明寺バス停13:00

【コース】鎌倉駅or浄明寺バス停～報国寺(竹林には入りません)～旧華頂宮邸～巡礼古道入口～浄妙寺～杉本観音バス停(解散)

●浄明寺バス停から報国寺を拝観後、旧華頂宮邸と巡礼古道の入口を巡ります。

〔共通事項〕

- 🚌 バス乗車 ※コース内のバス代は各自負担となります
- 👣 徒歩 ※👣の数が多いとコース難易度が上がります
- 📈 高低差

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各イベントの大幅な企画変更がありました。  
イベント・ボランティアの参加にはマスク着用と当日の検温報告をお願いします。また、急な中止・行程変更がありますことをご承知ください。

※写真はすべてイメージです

自然観察会

**10月24日(土) 9:30~12:00** 15人 受付 8/1~8/31

**伊勢原の原風景と  
今の時代の秋を訪ねる**

【講師】  
ナチュラリスト  
足立直義氏  
【集合】小田急線  
伊勢原駅改札前9:30

会員 **無料**  
一般 **2,000円**  
学生 **1,000円**

【コース】伊勢原駅～伊勢原市総合運動公園～相模古道～津古久味茶屋跡～伊勢原  
●大山・丹山のパノラマ展望の後、伊勢原の里山の原風景を眺め相模古道より、人の行き来があった時代を偲びます。

自然観察会

**11月6日(金) 8:45~12:00** 15人 受付 9/1~9/30

**旧街道～甘酒茶屋を訪ねて**

【講師】箱根地域自然観察指導員・  
日本ガーデンデザイン  
専門学校講師 高橋勉氏  
【集合】JR/小田急線  
小田原駅東口1階出入口前8:45

会員 **無料**  
一般 **2,000円**  
学生 **1,000円**

【コース】小田原駅～箱根杉並木～身代わり地蔵～賽の河原～御殿公園～興福寺～ケンペルパーニー碑～権現坂の碑旧街道石畳～甘酒茶屋(解散) ●樹齢300年余のスキが並ぶ芦ノ湖畔からスタートし、権現坂を通り、旧東海道の面影残る石畳を歩きます。新たに優待施設となった甘酒茶屋で解散となるため、午後から箱根観光や畑宿までのウォーキングがおすすめです。

歴史見学

**11月7日(土) 13:00~16:00** 10人 受付 9/1~9/30

**古都鎌倉の緑と歴史探訪  
～元八幡宮から林木座周辺を訪ねて**

【共催】(公財)鎌倉風致保存会  
【講師】元鎌倉女子大教授  
八幡義信氏  
【集合】JR鎌倉駅  
東口改札前13:00

会員 **無料**  
一般 **500円**  
※別途拝観料(500円位)必要

【コース】鎌倉駅～元八幡宮～向福寺～来迎寺～五所神社～鎌倉駅  
●鎌倉駅から徒歩で材木座にある元八幡宮や向福寺、来迎寺等を巡ります。

自然観察会

**11月14日(土) 9:00~12:00** 15人 受付 9/1~9/30

**紅葉の矢倉沢往還でミカン狩り**

【講師】NPO法人  
全国森林インストラクター神奈川会  
【集合】小田急線鶴巻温泉駅  
北口改札前9:00

会員 **無料**  
一般 **2,000円**  
学生 **1,000円**  
※別途ミカン狩代

【コース】鶴巻温泉駅～矢倉沢往還～勝興寺～三岳園ミカン狩り(一旦解散)～鶴巻温泉駅  
●大人気イベントを今年も行います!矢倉沢往還を歩き、歴史と秋の趣を感じながらミカン狩りの収穫を楽しみましょう。  
※観察会だけやミカン狩りのみの参加はご遠慮下さい。

自然観察会+歴史見学

**11月27日(金) 13:00~16:00**

**鎌倉の自然と歴史を学ぶ**

【講師】(公財)  
鎌倉風致保存会  
鎌倉歴史文化交流館  
【集合】JR鎌倉駅東口  
改札前13:00

会員 **無料**  
一般 **2,000円**  
※別途入館料210円  
鎌倉市民(65歳以上)  
はお知らせください

15人 受付 9/1~9/30


【コース】鎌倉駅～若宮大路～鶴岡八幡宮～御谷付近～鎌倉歴史文化交流館～鎌倉駅 ●若宮大路を通り、日本のナショナル・トラスト第一号である鎌倉の御谷の森を見学し、著名な建築家ノーマン・フォスターが設計に携わった鎌倉歴史文化交流館にて鎌倉の歴史を学びます。

12月以降のイベント詳細は  
次号掲載します

自然観察会+歴史見学

**12月4日(金) 9:00~12:00**

**ゆっくりと歩こう!  
山田富士から大塚・  
歳勝土遺跡公園まで**



野鳥観察会

2021年  
**1月16日(土) 10:00~12:00**

**相模川で野鳥の観察会**



野鳥観察会

2021年  
**3月13日(土) 9:00~12:30**

**ハヤブサとカモメたちに  
会おう**



**申込方法 自然観察&体験イベント**

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団  
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20  
☎ 045-412-2300 ✉ midori@ktm.or.jp 🌐 www.ktm.or.jp

【申込方法】  
イベント内容をご確認の上、●参加を希望するイベント名●参加希望者全員の氏名・住所・電話番号●会員の方は会員番号、または一般・学生を明記して、FAX・Eメール・ハガキ・財団WEBサイトにてお申し込みください。  
【雨天の場合】原則として小雨決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。【お願い】集合時間になりましたら出発します。遅れないようご注意ください。コース内のバス代は各自負担となります。※定員を超える申し込みがあった場合は抽選となり、定員に満たない場合は申し込みを先着順に切りかえて引き続き受付いたします。



**令和2年度** 12月以降のイベント詳細は次号掲載します  
(2020.9/1~2021.3/31)

※写真はすべてイメージです  
森へ行く! 活動に参加しよう!  
**森林ボランティア**

- 【共通事項】**
- 神奈川県森林インストラクターが指導します。
  - 現地に駐車場はありません。ただし「車マーク」のあるイベントのみ、車でお越しいただけます。
  - 「水」マークのあるイベントは、昼食後に温泉入浴ができます。
  - 募集人数及び集合時刻を一部変更しました。

**塚原 南足柄市 塚原水源林**

**9月19日(土) 間伐**

予備日: 9/20(日) 50人(先着順) 受付: 7/1~

**【集合】** 小田急線開成駅西口 8:30

※専用バスで移動  
※自家用車駐車場はありません

**【行程】** 開成駅西口(専用バスで移動)⇒現地⇒開成駅西口



**岩 真鶴町 真鶴町県行造林**

**9月26日(土) 間伐**

予備日: 9/27(日) 50人(先着順) 受付: 7/1~

**【集合】** JR東海道線・小田急線 小田原駅西口 8:30

※専用バスで移動  
※自家用車駐車場はありません

**【行程】** 小田原駅西口(専用バスで移動)⇒現地⇒小田原駅西口



**畑宿 箱根町 県有林**

**10月7日(水) 枝打**


予備日: 10/8(木) 50人(先着順) 受付: 8/1~

**【集合】** JR東海道線・小田急線 小田原駅西口 8:00【変更となりました】

※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません

**【行程】** 小田原駅西口(専用バスで移動)⇒現地⇒箱根高原ホテル ⇒小田原駅西口

◆昼食後温泉入浴



**塚原 南足柄市 塚原水源林**

**10月18日(日) 間伐**

予備日: なし 50人(先着順) 受付: 8/1~

**【集合】** 小田急線 開成駅西口 8:30

※専用バスで移動  
※自家用車駐車場はありません

**【行程】** 開成駅西口(専用バスで移動)⇒現地⇒開成駅西口



**内山 南足柄市 県立21世紀の森**

**10月25日(日) 除伐**

予備日: なし 50人(先着順) 受付: 8/1~

**【集合】** 21世紀の森駐車場 9:00

※専用バスはありません

**【共催】** 21世紀の森指定管理者  
※21世紀の森まつり同時開催

**【行程】** 自家用車等にて現地集合⇒(徒歩で移動)⇒現地⇒21世紀の森駐車場



**青根 相模原市 緑区 学校林**


**11月7日(土) 除伐**

予備日: 11/8(日) 50人(先着順) 受付: 9/1~

小田急線 本厚木駅  
A 東口 8:30 ※または  
B 宮ヶ瀬湖畔鳥居原駐車場 9:30  
※専用バスで移動

**【共催】** (公財)相模原市まち・みどり公社

**【行程】** A 本厚木駅東口(専用バスで移動)⇒宮ヶ瀬湖畔鳥居原駐車場 Bと合流⇒現地⇒宮ヶ瀬湖畔鳥居原駐車場⇒本厚木駅東口



**畑宿 箱根町 町有林・お玉が池**

**11月21日(土) 植栽**


予備日: 11/22(日) 50人(先着順) 受付: 9/1~

**【集合】** JR東海道線・小田急線 小田原駅西口 8:30

**【共催】** 箱根町 ※専用バスで移動  
※自家用車駐車場はありません

**【行程】** 小田原駅西口(専用バスで移動)⇒現地⇒箱根高原ホテル ⇒小田原駅西口

◆昼食後温泉入浴 ◆皇太子殿下 御即位記念



**千村 秦野市 頭高山**

**11月29日(日) 除伐**


予備日: なし 50人(先着順) 受付: 9/1~

**【集合】** 小田急線 秦野駅南口 8:30

**【共催】** 秦野市

※専用バスで移動  
※自家用車駐車場はありません

**【行程】** 秦野駅南口(専用バスで移動)⇒現地⇒秦野駅南口



**比奈達 中井町 中井中央公園**

**12月5日(土) 除伐**

**田名塩田 相模原市 中央区 市有林**

**12月12日(土) 除伐**

**栗木 川崎市 麻生区 栗木山王山特別緑地**

**12月23日(水) 竹林整備**



**菅北浦 川崎市 多摩区 菅北浦緑地**

2021年 **1月16日(土) 除伐**

**西小磯 大磯町**

2021年 **2月6日(土) 竹林整備**



**申込方法 県民参加の森林づくり**

**【申込先】** (公財)かながわトラストみどり財団 みどり森林課  
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20  
TEL 045-412-2300 E-mail midori@ktm.or.jp WEB www.ktm.or.jp  
FAX 045-412-2255

**【申込方法】** 活動内容をご確認の上、●参加希望日 ●参加希望者全員の氏名(ふりがな)・住所・電話番号 ●森林整備活動登録番号をお持ちの方は登録番号を明記して、ハガキ・電話・FAX・Eメール・財団WEBサイトにてお申し込みください。

**【荒天の場合】** 予備日のある場合は延期、ない場合は中止。

**【実施の可否の確認方法】** 実施日前日の18時以降に、電話(045-412-2255)でご確認ください。録音テープでご案内します。



**参加者にはもれなくみどりオリジナルグッズを！  
Wチャンスとしてペア宿泊券・ペア入場券・  
ペアランチ券など抽選で賞品をプレゼント！**

## フォトラリーに参加して、スポットの魅力を体感

かながわのみどりや森林におけるパワースポットや癒やしスポットを巡り、新たなみどりの発見や癒やしの体験を実感してもらうため、「フォトラリー」を開催中です。36スポット中、3ヶ所以上を巡り、写真を送っていただいた方に、もれなく財団オリジナルグッズをプレゼント、また、抽選で素晴らしい賞品をプレゼントいたします。なお、感染症対策等の状況により参加申込期間を延長してお待ちしております。

**参加申込を延長します。2021年4月30日まで(消印有効)**



大滝沢



泉の森



六国見山



葛葉緑地

## 渡邊英夫理事 環境大臣表彰 2020年4月15日

財団理事であり南足柄緑の少年団団長の渡邊英夫氏が環境省の「『みどりの日』自然環境功労者環境大臣表彰」を受賞しました。渡邊氏は、自然体験活動等を通じて、子どもたちの豊かな人間性を育む等、環境保全活動に尽力されました。こうした自然とのふれあい活動の積み重ねが功績として認められ、表彰されました。



## 告知 「やどりきの森へ行こう！ 溪流散策とやどりきの成り立ち」

2020年

9月12日(土)

申込  
締切

8月29日(土)

少雨  
決行

### やどりき水源林 (足柄上郡松田町寄)

【定員】20名(先着順)

【集合】小田急小田原線新松田駅北口に8時30分までにお越しください。

かながわ森林インストラクターがご案内いたします。

※新松田駅～やどりき水源林ゲート間はバス送迎となります。

(バス代各自負担:片道620円)

【帰り】現地 14:30発 ⇒ 15:10 新松田着

【講師】神奈川県立生命の星・地球博物館情報資料課長(地質学・岩石学 山下浩之氏)

【問合せ先】公益財団法人かながわトラストみどり財団

みどり森林課 ☎ 045-412-2255

【申込み先】NPO法人かながわ森林インストラクターの会

〒243-0018 厚木市中町2-13-14 サンシャインビル604

E-mail:k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

【申込内容】参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入し、往復はがき、又はメールで申込。応募の方に後日詳細を記した参加証を送付します。

## 所得税・住民税の優遇措置について

(公財)かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算はいずれかを選択することができます。

### ①税額控除(所得税)

#### ① 所得税の減少分

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 40%

#### ② 住民税の減少分

県民税(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 2%

#### (②の例)：横浜市税

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 8%

### ②所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円)の金額を、その年分の所得から控除するもの。

**相続税の非課税** 相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10か月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

## 財団事業にご支援をお願いします



### 県民参加の森林づくり事業

ボランティア参加による森林づくり活動や小中高校生の森林体験学習を行うほか、森林インストラクターの養成及び派遣の支援など、県民の森林への理解や森林づくりの参加を促進する事業。

財団は県内各地において、かながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を行い、自然環境、歴史的環境の保全と緑化の推進を図っています。みどり豊かな神奈川にすることを目的に、これからも活動に取り組むため、財団の事業へご支援をお願いします。



小網代の森の観察会

### 普及啓発事業

かながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を多くの皆さまに知っていただき、活動に協力していただくための事業。

### 緑地保全事業

緑地所有者との保存契約を行いトラスト緑地の維持管理活動等を行うほか、小網代の森などトラスト緑地の保全を支援する事業を実施。



箱根小塚山緑地の自然再生活動

### 地域緑化活動事業

地域の市民団体を支援するほか、地域に根差した活動を行うため地区推進協議会を設置。



みどりの実践団体研修会

### 緑の募金事業

県内で緑の募金運動を展開し、その募金は学校や公共的な場所の緑化、丹沢への植樹等に活用される。

### 同封の振込用紙の取扱いについて

- ① 本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費や緑のグッズ募金の振込には使用しないでください。
- ② 振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③ 領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄にをお願いします。

(公財)かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税・法人税の控除が受けられます

02 横浜 払込取扱票 通常払込料金 加入者負担

口座記号番号									
0	0	2	8	0	2	4	2	2	4
加算名 公益財団法人かながわトラストみどり財団									
※おところ おなまえ 〒□□□□-□□□□□□					金額				
ご依頼人・通信欄					千 百 十 万 千 百 十 円				
不要な方は☑(チェック)をお願いします。 <input type="checkbox"/> 領収書等不要 <input type="checkbox"/> 機関連ミドリ等への名前の掲載不要(匿名希望)					[キャンペーン用振込用紙です ※会費振込はご遠慮ください。] ※寄附金内訳 <input type="checkbox"/> 財団事業(公益目的事業)への寄附 円 <input type="checkbox"/> 財団運営への寄附 円 媒体：〒150-117号				
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちよ銀行)(承認番号横5996号) これより下部には何も記入しないでください。					日 附 印				

各票の※印欄は、左欄へおし記載してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号									
0	0	2	8	0	2	4	2	2	4
加算名 公益財団法人 かながわトラストみどり財団									
金額					千 百 十 万 千 百 十 円				
※おなまえ					円				
ご依頼人									
料金					日 附 印				
備考					様				

記載事項を訂正した場合は、その欄所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

振込には手数料はかかりません。  
 ゆうちよ銀行・郵便局の窓口でお振込ください。

- (ご注意)
- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはつきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
  - ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
  - ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
  - ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこら、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
  - ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この受領書により募金の領収書に代えさせていただきます。  
(公財)かながわトラストみどり財団  
電話 045-412-2525

収入印紙  
課税相当額以上  
貼付  
印

この場所には、何も記載しないでください。

# 小網代の森へ ラッキー生物を探しに行こう!

森で出会えたら幸運!  
小網代の縁起のよい  
生きものたち

## 花瓶(一輪挿し) プレゼント キャンペーン\*



小網代の森に行って、ラッキー生物に出会ったら、  
写真を撮って、SNSで「#koajiro lucky または  
#小網代ラッキー」を入れて投稿してください。  
投稿された方の中から抽選で、写真映えの  
オリジナル一輪挿しをプレゼント!  
小網代の森などでの掲示や  
SNSでシェアも!!

※在庫がなくなり次第  
終了となります。

## ラッキー生物のなかま

### ミサゴ

森の入江の上空を滑空する白い猛禽がミサゴです。魚を捕るタカで食物連鎖の頂点の種であり、その希少性からも大切にされてきた生きものです。

### ノウサギ

小網代の森にも愛らしいノウサギがいます。ウサギはツキ(月)を呼ぶ? ぴょんぴょん跳ねて前に進むので飛躍運や、子沢山なので子宝運も上がりそうです。

### アゲハ

森の内を華やかに羽ばたき、目で追ってしまう鮮やかな様子はまさに恋愛運が上がりそうなチョウです。  
また、幼虫から蛹、成虫へと成長して変身するため、立身出世運とも。

### アカテガニ

小網代の森はアカテガニの森。森川海に暮らし流域を知るカニ。幼いカニは黄金色ですが、大きくなるにつれ赤くなり、ハサミが紅白に。また甲羅にはスマイルマークが隠れています。子沢山で子を抱く習性のため子宝運。水陸両棲、脱皮で入れ替わるといふ万能運が上がるかも。

### オニヤンマ

スズメバチだって捕食する日本最大の巨大なトンボです。トンボは農作物の害虫を食べる益虫とされ五穀豊穡の恵を与えるほか、前にしか進まないで「勝虫(かちむし)」といわれ勝負運が上がるとして武具の飾りや着物が親しまれてきました。



## 財団事業をご支援いただいている法人・団体様を紹介いたします!

法人団体会員など財団事業をご支援いただいている企業・団体様の広告を募集しています。日頃の社会活動をPRする機会としてご利用ください。掲載料は機関紙「ミドリ」の制作費の一部として使用します。

規格及び負担額(掲載料)		
規格	サイズ(幅×高さ)	掲載料
スペース①	全面広告 (180W×270H)	80,000円
スペース②	1/2広告 (180W×130H)	40,000円
スペース③	1/4広告 (88W×128H)	20,000円

年間契約の場合の掲載料は、3号分となります(無料で4号に掲載)



## 遺贈による寄付について

近年、遺言による寄付について関心が高まっており、これまでに遺贈を受けた新たな公益事業を行っております。遺言の財産受取人として、当財団をご指定いただけます。

### 相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなられてから10ヶ月)までに当財団へ寄附された場合、その寄附額の相続税が非課税となります。

## 寄附の事例

「県内の緑化活動に役立てて欲しい(緑の募金事業への指定寄附)」

用途▶森林や緑地の維持管理における竹林整備のため竹粉砕機を導入、貸出事業を行っています。竹を割ってそのまま数ミリ程度に粉砕でき、マルチ材や堆肥などに活用できます。



竹粉砕機

「トラスト緑地の保全のために(緑地保全事業への指定寄附)」

用途▶小網代の森等の自然再生活動や環境学習などに活用しています。

